NINTENDO64 スペースワールド'96

11月23、24日、千葉の幕張メッセで、ニンテンドウ64スペースワールドというイベントが開催された。これは初心会という任天堂関連製品を取り扱う問屋さんの団体が主催する、新作ゲームソフトの展示会。この展示会のもようをたっぷりとお届けしちゃうぞ。

注目の64DDが世界初公開された!!

64ＤＤ。この仮称だけがひとり歩きしていたニンテンドウ64専用磁気ディスクドライブが、この会場でついに正式発表されたぞ。その正式名称は"ニンテンドウ64 ディスクドライブ"となったのだ。

この会場では、64ＤＤの実物が初公開された。下の写真がそれだ。接続はニンテンドウ64本体の下面にある拡張端子を使う。64ＤＤのサイズは幅260×奥行き190×高さ78.7ミリ。重量は1.6キログラム。

おつぎは専用ディスク。その容量は約64メガバイト。単純計算では『スーパーマリオ64』が８本収録できるという大容量だ。サイズは幅101×奥行き190×厚み10.2ミリとなっている。もちろん64ＤＤ専用の両面磁気記録ディスクだ。

64ＤＤの最大の特徴は、ディスクに書き込みができること。その容量は最大で32メガバイトまで可能なことが発表されたぞ。なお、64ＤＤの販売時には、ニンテンドウ64のＲＡＭ容量を大きくするための、"メモリー拡張パック"を付属することも発表されたのだ。

さて、その64ＤＤのチョー気になる発売日は……'97年。そして価格は……未定。と、まだバクゼンとしている。はてさて、これからどんな旋風を巻き起こすやら。

➡やはり今回の注目の的となった64ＤＤ。会場では、来場者の姿をデジタルカメラで撮影し、それを64ＤＤに記録してモニターに映し出す、という実演をしていた。

➡64ＤＤの対応第１弾は、やはり『ゼルダの伝説64』？

⬆この小さな64ＤＤ専用ディスクがゲームを変える日がやってくるのか？

⬅ついに公開された64ＤＤ。ニンテンドウ本体の下部にピッタリと重なる。前面右の丸いのがイジェクトボタン。中央がアクセスランプだ。

64DDの可能性は？

64ＤＤは、ＣＤ-ＲＯＭやＲＯＭカートリッジとはどういう違いがあるのか？ 最大の違いはデータの書き込みができるということ。カートリッジやＣＤでは、プレーヤーデータの保存のために補助的に行なわれている程度だけど、64ＤＤでは最大で、ソフトの容量と同程度のデータが書き込めるのだ。

では、実際にはどんなソフトが64ＤＤを使って登場するのか？ たとえば、育成シミュレーションゲームでは、どれほどデータが複雑で膨大になっても対応できるし、ＲＰＧでも、プレーヤーごとに、大きくストーリーが違ってくるソフトも作れるのだ。

64ＤＤの発売後は、ニンテンドウ64ソフトは３つの形態で発売されることになる。カートリッジ型とディスク型、そしてカートリッジとディスクを併用するタイプ。ソフトの内容に合わせてメディアを選択するようになるわけだ。